

鮭延越前守と曰は長谷堂に家前加勢をいせ受ふも未と心  
もと打く旨を方角あり馳行伊豆方を合戦する評定遊  
面しかきむてくか付く如く城中一人も柵より外に出るを  
と依れ越前守も手勢引具し長谷堂馳行伊豆守に對  
面し以意の趣率くや述る所はよき言ふ所の獲討に敗走し  
口惜く累日四七日先後にせ惣堀<sup>堀</sup>まで青家各城中に墮れし  
里方の櫓より鉄炮おき伊豆の時の言に打くる者多かりける  
あま青家えて有る言ふ言ふ大岡を似て城中へおかけ  
々々木戸に當り壁二間余打破れける言ふ百雷の落くる如き  
まはし是に利を得て喜りお馬城門を破るも言ふを城中より

志村伊豆守草刈志摩守先をくちけ出るをせんと  
戦ひ多し兵卒厚死人殺され左方の櫓よりお掛る鉄  
炮にあまの兵追返され引退くも松本本を助う大勢を  
日々戦ひ入るる志村伊豆守は言ふ言ふ言ふ言ふ言ふ  
日を追ふも切ておけ所は松本本を助横合に穴あける  
伊豆守不討し引返る松本本を助入る言ふ言ふ言ふ  
志摩守大勢左方に立ちあふ松本本を助ける本を助  
是を見てそれ逃る言ふ言ふ言ふ言ふ言ふ言ふ言ふ  
し助源をを有ひ言ふ言ふ言ふ言ふ言ふ言ふ言ふ  
合ふ十余人同様に討死し直江山城守是を見て大